

歓迎の言葉

ただいま、入学を許可いたしました三百十二名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私達教職員並びに在校生一同、心から皆さんの入学をお祝いし、本校の生徒としての仲間入りを歓迎いたします。本校は、校歌にもありますように、緑さやけく、萌えたつ園、ここ松陰の丘に昭和四十七年に創立され本年で四十九年目を迎えます。創立以来の校訓である「自主・協調・創造」を理念として「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」に裏打ちされた「生きる力」を育むとともに、本校が育てる生徒像である「基礎的な人間力の上に、探究心を核とした主体性・協働性・表現力を持つ生徒」を育成することを目標として、日々の教育活動に邁進して参りました。卒業生は、一万八千名を突破し、国内外を問わず、社会のあらゆる分野で活躍しています。

さらに、本校は理数系教育に重点を置き、平成十五年には自然科学コースを、平成二十四年には自然科学コースを自然科学科に改組し、平成二十二年には文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、本年度から新たに第三期五年間の研究指定がスタートします。このように本校は常に時代の最先端を見つめ、国際的に活躍できる科学技術人材の育成を核とし、その成果を文科系人材育成にも波及させることによって、より質の高い教育を引き続き志向して参りたいと思います。

さて、皆さんは、本日から高校生として新しい第一歩を踏み出すこととなります。昨今の新型コロナウイルス感染防止に伴う様々な教育活動の制約は、皆さんに不安とご心配を残したままのスタートとなりますが、それに負けることなく、大きな夢と希望をもって、本校での高校生活をスタートさせて頂きたいと思います。

皆さんが生きる二十一世紀の日本の社会は急激な少子高齢化が進み、情報通信技術の進歩はグローバル化にさらなる拍車をかけ、AIの進歩は未来の労働環境に大きな影響を及ぼすことが予想されます。このような時代にあって、皆さんは、より質の高い学びを追求していかなければなりません。

また、皆さんが高校三年生になると、成人年齢を十八歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」が施行されます。これは若者の自己決定権を尊重するものであり、積極的な社会参加を促すためのものでもあります。

明石北高校でのこの三年間で、皆さんは、国内外の社会環境の急激な変化を自覚し、成人として必要とされる学びを身に付けるとともに、互いに切磋琢磨し、自己有用感等を高めつつ、本校で青春を謳歌し、地域に愛される明北生として、本校のこれまでの伝統の継続と、新たな伝統の創造に邁進することを切に願います。

それでは新入生の皆さん、本日の感激を忘れることなく、学習に、部活動に思う存分持てる力を発揮してください。皆さんにとって本校での生活が貴重な青春の三年間になることを祈念いたします。

令和二年四月八日

兵庫県立明石北高等学校長
安岡 久志